

令和元年度玉名女子高等学校 学校評価

本校教育の目的

本校は、普通科・ビジネス科・食物科・看護学科の各教育課程を通して、それぞれの分野の基礎・基本はもとより、専門的・職業的知識や技能を修得し、急速に発展している国際化・情報化・高度化社会に遅れることなく、将来の日本が目指している男女共同参画社会に十分対応できる人材の育成を目的とする。

重点努力目標

1. 基礎学力充実のための取り組み 専門性習得のための指導力の強化
2. 基本的な生活習慣の確立を図るための取り組み
3. 文武両道
4. 人権同和教育の推進
5. 働き方改革の推進
6. 魅力ある学校づくりと生徒募集

重点努力目標に対する自己評価総括				
		評価項目	評価	総括
重点 目標 1	1	生徒の基礎学力の向上と多様な生徒に対する進路保障	B	学び直しトレーニングの取り組みに対する評価は高く、模試のデータから効果も見られる。しかし成果を感じていない教員も多く、データを活用しながら今後も効果的な実施方法を工夫し、継続していく。多様な進路希望に対し、生徒一人ひとりに対応する受験指導、進路指導を行い、成果を上げることができた。生徒・保護者の満足感が上がるように、進学課外の内容の見直し、模試等のデータを活用し、学力を把握した上でさらに計画的で細やかな指導をおこなっていく。また、新しい大学入試制度を視野に入れて、積極的に研修会に参加、校内研修を実施し、職員が共有し、基礎学力向上から、特進コースの進学指導まで、幅広い視野を持って進路保障に取り組む。
	2	専門性習得のための指導力の強化	A	生徒、保護者、教職員ともに専門的な学習内容の充実に対する評価が高い。看護師国家試験は高い合格率を維持、アニメデザインコースの2期生はさらに多くの専門分野での大学、専門学校に進学することができた。令和2年度は食物科の新コースの生徒が3年生となる。教員の研修への参加や、専門職者による授業を実施しながら、教員の専門性も高め、より専門性の高い指導を目指す。検定にも引き続き積極的に取り組むとともに、検定を日々の学習の動機づけとし、合格率を向上させるための指導の改善を行う。学科会を活用し、各科、各コースで、生徒の実態に即した内容の検討、学習成果の発信・発表などに取り組み、生徒、保護者の肯定的な評価も9割以上を目指す。
重点 目標 2	3	基本的な生活習慣の確立と安全な生活指導	A	日常の清掃指導や勤労体験学習を通して奉仕の心を養い、併せて女子高校らしく、清潔で、美しい学習環境作りに努めた。また、挨拶や所作の中に女性らしい気品のある行動ができるよう指導に努めた。生徒の心身の健康を保持する取り組みは、学校保健部を中心に組織的に行うことができている。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携し、必要な生徒に早期の対応ができており、今後も継続していく。出席率が高く、生徒は落ち着いた生活を送ることができており、校外指導や交通指導、日常的な生活指導など、問題事案の発生を防止するための指導に努めることができた。家庭学習の習慣と学習への意欲的な取り組みを身につけさせるために、課題の工夫、点検、事後指導の方法など改善が必要である。生徒の3分の1は寮生なので、寮生活の中で育てるべき生活習慣も整理し、心身共に安心できる環境作りに努力しなければならない。
重点 目標 3	4	教師指導力の向上	B	授業力の向上と魅力ある授業づくりのために、28年度から始めた、外部講師を招いての教科指導力向上研修は、国・数・英・理・社・商・保健体育で、有意義な研修を実施できた。しかし、わかりやすい授業の工夫については教職員の評価に比べて生徒・保護者の満足度は低く、今後さらに努力が必要である。研究授業等の研修を継続すると同時に、規律ある授業進行、テンポのある授業等、日々の授業の在り方を見直し、授業改善に活かしていく。本校が目指す進路指導のために、学校外での研修も積極的に参加を検討したい。また、新しい大学入試制度に対応できるよう、次年度以降も校内職員研修を継続し、情報の共有に努める。特進コースも2年目となり、授業改善や指導力向上へのさらなる取り組みが必須である。
	5	文武両道を目指す、学習と部活動の両立	B	学習活動と部活動を両立させ、心身共にバランスのとれた人間の育成に努めた。部活動では、バドミントンなど運動部活動の活躍と、吹奏楽部のマーチング・吹奏楽の全国金賞、ダンス部の地域に根ざしたボランティア活動など、どの部活動も積極的に取り組み、高い評価を受けた。また、茶道部は玉名市内の中学校で、出張授業をするなどの活動を行った。学習時間の確保や成績の維持、教師の働き方改革を視野に入れた部活動の指針を策定し、次年度はその指針の下に活動をおこなう。競技力の向上のみに捉われず、けがなく、学習面と部活動の両立を図り、心身の成長を促す。また、国際交流やボランティア活動など、さらに生徒の活動、活躍の場を広げる取り組みをする。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重点目標 4</p>	<p style="text-align: center;">6</p>	<p>人権同和教育の推進といじめを許さない心の涵養</p>	<p style="text-align: center;">B</p>	<p>同窓生や地域で活躍される方の講話を聴く機会を持ち、生徒とともに教職員も、素晴らしい生き様に学び、建学の精神を振り返り考えることが出来た。朝読書、一日一詩による読書習慣の定着、ボランティア活動への参加は徐々に成果が出てきているので、継続し、豊かな心の涵養を目指していく。</p> <p>差別やいじめのない環境づくりの取り組みに対する評価は低い。人権講話、職員研修の実施、ホームルームでの指導など、未然に防ぐ取り組み、いじめ調査、教育相談を活用して早期に対応できる取り組みなど継続して行い、生徒・保護者の満足度を高める必要がある。</p> <p>国際交流を通して、グローバルな視点で、違いを認め合う考え方を学ぶ機会を持つことが出来た。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で直接的な交流が行いにくい状況で、インターネットを活用した交流など方法を工夫しながら継続していく。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重点目標 5</p>	<p style="text-align: center;">7</p>	<p>働き方改革の推進</p>	<p style="text-align: center;">B</p>	<p>休暇取得の推進、会議の見直しについては一定の評価は得られているが、仕事のスリム化については評価が低い。タイムカードを導入して出退勤時刻、時間外労働の把握はおこなっている。今後も時間外勤務を意識した計画・調整をし、時間外労働が増えない配慮を継続する。同時に、部活動については新しい部活動指針に則った活動を行うことで、また、職員の勤務時間や休暇取得等に対する意識を高め、各自、各部署での仕事の見直しを進めていくことができるようにする。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重点目標 6</p>	<p style="text-align: center;">8</p>	<p>魅力ある学校づくりと生徒募集</p>	<p style="text-align: center;">A</p>	<p>前年度より入学者を減らしたので、日々の学習や学校行事を丁寧に行うことにした。米国や韓国の姉妹校との交換留学制度、そしてA F Sからの留学生の受け入れなどを通じた国際交流については生徒、保護者の満足度が高い。米国から帰国した韓国人の生徒（本校生）、コスタリカからの留学生がいてグローバルな視点を養うきっかけとなった。吹奏楽部の吹奏楽コンクール、マーチングコンテスト、アンサンブルコンテストの全国大会出場をはじめ、バドミントン部と陸上部のインターハイ出場、ダンス部の熊本県民会議表彰など、部活動生の活躍が光った年となった。ビジネス科では九州産業大学でのアニメーションについての講義を受講したり、漫画家の室山まゆみさんに特別講師を依頼した。食物科は創作仏蘭西菓子職人の霜上明宏さんを招いて、製菓の講義を行っていた。NHK大河ドラマ「いだてん」から金栗四三を講えて、熊本城マラソンでは2年連続フードエイドとして「シナモンロールパン」を制作、給仕のボランティアを担当した。J Aたまなから食材の提供を受けながらコンテストも開催。今後は商品開発等に繋げていくつもりである。スクールバスは現在8路線走らせているが、とくに荒尾市からの受験者数や入学者が右肩上がりなので、さらにニーズに応えた路線の見直し等を図りたい。県内外で様々な地域に向いて進路相談会を実施したが、今年度はあまり効果がなかった。サマーコンサート等を企画して、本校を知っていただく機会を創出したい。</p>